



◆海外市場調査の Web サイト『グローバルマーケティングラボ』もご覧ください。

<http://www.global-marketing-labo.jp>

近年のマーケティングの対象は国内市場中心からグローバル市場へと広がっております。

弊社では、グローバル市場においても足で稼ぐ生きた情報を収集すべく、充実した社内体制と外部ネットワークを構築し、多数の海外調査を実施しております。

『グローバルマーケティングラボ』では、工業市場研究所の海外調査のメニューの紹介や調査実績、各国情勢コラムを掲載しております。調査実績、海外情勢コラムは随時、更新を行っておりますので、是非、ご覧ください。

海外市場調査にご興味のある方は、TEL:03-6459-0165 又は
<http://www.global-marketing-labo.jp/contact/> までご連絡下さい。

WEEKLY NEWS

◆シート：三菱ケミカルが欧州のアクリル樹脂シート事業を譲渡（9月21日）

三菱ケミカルは、欧州におけるアクリル樹脂シート（以下「PMMAシート」）事業を Schweiter Technologies AG グループ（本社：スイス、以下「STAG」）へ譲渡することを発表した。

英国所在グループ会社である Lucite International UK の PMMA シート事業を分離した上で、同社が製造する PMMA シートの英国内販売会社である Perspex Distribution の株式とともに、92 百万英ポンド（約 135 億円）で譲渡する。

STAG は、欧州の大手プラスチックシートメーカーであり、三菱ケミカルグループが PMMA シート原料である MMA モノマーを供給する戦略的パートナーである。譲渡する PMMA シート事業の 2018 年 3 月期の売上高は約 126 百万英ポンド（約 185 億円）である。

三菱ケミカルは、STAG に欧州 PMMA シート事業を譲渡することで、欧州市場における同社事業の更なる成長を通じ、MMA モノマー供給での更なるパートナーシップの強化を図っていくとしている。

◆電子材料：日本電気硝子が高コントラストのディスプレイカバーガラス用成膜材料の共同開発に成功（9月21日）

日本電気硝子は、東北大学と米国ワシントン大学と共同で、高コントラストな映像と高級感溢れる外観のディスプレイを実現するディスプレイカバーガラス用

成膜材料を開発したことを発表した。

今回開発した材料は、可視光領域(400nm～700nm)の波長において、高く均一な吸収を有することが特長で、液晶ディスプレイへの外光の映り込みを抑える反射防止膜材料の一部として使用することにより、バックライトからの光漏れをも吸収し、黒色が引き締まったシャープな映像を実現することができる。

今後は早期量産化を目標に開発スピードを上げていくとしている。

◆インキ: DNP が植物由来の原料を使用した環境に優しい「バイオマテックインキ」を開発(9月20日)

大日本印刷(以下:DNP)は、植物由来の原料を一部に使用することで環境への負荷を軽減できる「バイオマテックインキ」を開発したことを発表した。

「バイオマテックインキ」は、石油由来のインキと同等の物性を有しているため、洗剤やシャンプーなどの詰替えパウチや、ボイルやレトルト、電子レンジなどに対応可能な高い機能を必要とする包装材の印刷インキとしても使用できる。

また、植物由来原料を使用した包材と組み合わせることで、さらに包装材全体として温室効果ガスの排出量を削減することができる。

同社はまず、植物由来包材を採用している企業やフィルムパッケージのリサイクル技術開発に DNP と共同で推進する顧客を中心に、今回開発した「バイオマテックインキ」を提案していくとしている。

◆樹脂: 王子ホールディングスが生分解性プラスチックと更なる機能を加えた紙製品の開発を促進(9月20日)

王子ホールディングスは、地球環境に配慮した生分解性プラスチックと更なる機能を加えた紙製品の開発を促進すると発表した。

生分解性プラスチックの開発としては、パルプを生分解性プラスチックであるポリ乳酸と複合化した樹脂ペレットの開発を進め、製品の剛性や耐熱性の向上、射出成形時間の短縮、成形品の用途拡大が期待される。また、生分解性プラスチック原材料の自社開発も進め、生分解性プラスチック原料に使用される糖液は可食原料から製造されていた中で、非可食原料の木材から糖液を製造する技術を開発し、量産体制を整備している。

更なる機能を備えた紙製品の開発としては、プラスチックが使用されているバリア性を有する包装材料を紙に置き換えるための再生循環型の包装材料の開発や、紙コップのプラスチック蓋が主流となっている中でパルプを原料とした紙製の蓋の開発、紙製ストロー原紙の提供に取り組んでいるとしている。

◆農薬: 日産化学が新規殺虫剤「グレーシア」原体製造設備を完工(9月20日)

日産化学は、小野田工場における新規殺虫剤「グレーシア(開発コード: NC-515)の原体であるフルキサメタミドの製造設備新設工事が完了したことを発表した。

野菜および茶向け汎用性殺虫剤「グレーシア」は、極めて広範囲の重要害虫に有効であること、訪花昆虫であるミツバチへの影響が少ないなどの特徴を有している。

グレーシアは、2018年に韓国で上市しており、日本での販売は2019年の予定としている。

◆自動車用材料: 日本ガイシが石川工場にアジア拠点向け粉体生産設備を新設(9月19日)

日本ガイシは、自動車排ガス浄化用セラミックスの生産拠点である石川工場に新たに原料の調合を行う粉体生産設備を導入することを決定したことを発表した。

同社は現在、名古屋事業所と海外2拠点(ベルギー、米国)で粉体を生産し、世界の拠点に供給している。今後、生産能力を上回る需要が見込まれることや中国を中心とするアジア地域への供給体制の強化、BCP(事業継続計画)の観点から、約70億円を投資し、石川工場に粉体生産設備を新設することを決定した。

今回の投資では、石川工場の敷地内に建屋を増築し、自動化や省人化を進めた生産性の高い粉体生産設備を導入する。これにより石川工場は、原料の受け入れから粉体の生産、完成品の生産・出荷までを一貫して行う工場になるとともに、アジアの生産拠点に粉体を供給するとしている。

◆無機・有機: AGCがタイでクロール・アルカリ事業の能力増強を検討開始(9月18日)

AGCは、東南アジアにおけるクロール・アルカリ事業拡大の一環として、タイの同社グループ会社ビニタイ社の生産能力増強の検討を開始し、現地環境当局に申請手続きを開始したと発表した。

本申請において環境影響評価の前提となる増強後の年間生産能力は、苛性ソーダ59万トン(現在37万トン)、塩化ビニルモノマー(VCM)83万トン(現在40万トン)、塩化ビニル樹脂(PVC)86万トン(現在30万トン)となる。

今後能力増強の検討を継続し、環境影響評価の審査結果を踏まえて、最終的な判断を行う予定としている。

◆樹脂関連: 出光興産が中国でエンジニアリングプラスチックのコンパウンド製

品の生産能力を増強(9月18日)

出光興産は需要伸長に対応するため、中国子会社の出光複合工程塑料(広州)有限公司(以下、ICG)におけるエンジニアリングプラスチックのコンパウンド製品の生産能力を増強すると発表した。

ICGは2008年の設立以来、主に中国・アジア圏向けにエンジニアリングプラスチック(ポリカーボネート、シンジオタクチックポリスチレン)のコンパウンド製品を生産しており、自動車電装部品やOA機器外装部品に使用されている。

出光興産によると、同社のエンジニアリングプラスチックは自動車分野において需要が年率約10%伸長している。

増強する設備の完工予定は2018年12月で生産の能力は20,000t/年から25,000t/年になるとしている。

◆複合材料:三井化学が北米でガラス長繊維強化ポリプロピレンの生産設備を新設(9月18日)

三井化学は、同社グループの米国の製造拠点であるAdvanced Composites, Inc.にガラス長繊維強化ポリプロピレン(長繊維GFPP)の生産設備を新設することを決定したと発表した。

長繊維GFPPは軽量で、剛性や耐衝撃性のバランスに優れていることに加え、外観性が良いことから、無塗装による自動車向けバックドアインナー等に採用されている。また、環境規制の強化やEV化の進展を背景に、自動車には更なる軽量化が求められており、繊維強化樹脂の需要は増加が見込まれている。

新設する生産設備の生産能力は3,500トン/年、2019年10月に営業運転を開始する予定としている。

◆価格改定

- ・クラレがMMAモノマー(メタクリル酸メチル)およびMAA(メタクリル酸)を10月1日出荷分より値上げ
値上げ幅は、20円/kg(国内向け)
- ・トクヤマが工業用イソプロピルアルコール(IPA)を10月1日出荷分より値上げ
値上げ幅は、12円/kg以上(国内向け)
- ・トクヤマがプロピレンオキサイド(PO)を10月1日出荷分より値上げ
値上げ幅は、13円/kg以上(国内向け)
- ・積水フーラーが接着剤製品を10月15日出荷分より値上げ
値上げ幅は、包装・製本用:10%以上、衛材・住宅建材用:5%以上



株式会社 工業市場研究所

TEL:03-6459-0165 FAX:03-5408-1584

〒105-0003 東京都港区西新橋 3-6-10 マストライフ西新橋ビル

<http://www.kohken-net.co.jp>

- ◆メールの設定により、読み難くなる場合がございます。ご容赦ください。
- ◆配信停止・ご意見・お問い合わせはこちらへ h-ikeda@kohken-net.co.jp

